

日本ウズベキスタン・オンラインビジネス対話

グリーン・エコノミー分野における協力 ～ウズベキスタン・ビジネス起業大学院との 新たなパートナーシップ～

開催のご案内

2025年8月18日（月）

（一社）ROTOBO

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、（一社）ROTOBOは経済産業省の助成により、ウズベキスタン共和国閣僚会議付属ビジネス起業大学院からのご提案をもとに「グリーン・エコノミー分野における協力」と題したオンラインでのビジネス対話を以下の要領にて、実施致します。

もともと2001年設立の高等教育機関であったウズベキスタン・ビジネス起業大学院は、2023年4月の大統領決定によって閣僚会議付属に再編、機能強化されました。その目的は、高度な知識と国際経験を基盤に、デジタルトランスフォーメーションとグリーン・エコノミーの分野において活躍できる一流の専門家を、ウズベキスタンにおいて育成することにあるとされています。

この度、同大学院の傘下にあるビジネスインキュベーター・スタートアッププロジェクト・センターより、グリーン・エコノミー分野におけるウズベク企業と日本企業との協力推進のため、交流機会を持ちたいとの希望が寄せられたことから、オンラインでのビジネス対話を企画致しました。ウズベキスタンにおける起業家育成やグリーン・エコノミー推進の取組状況について理解を深め、関係する現地企業との交流を図るまたとない機会となりますので、皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

敬具

開催概要

- ◆ 日時：2025年9月11日（木）14:00～16:00（現地時間 10:00-12:00）
- ◆ 主催：（一社）ROTOBO、ウズベキスタン閣僚会議付属ビジネス起業大学院
- ◆ 参加費：無料 / ◆ 言語：日露同時通訳
- ◆ 会議システム：Zoom

※ブラウザ上で参加できるため、ソフトのインストールは不要です。申し込み締め切り後、お申込みいただいた方に配信リンクをEメールにてお知らせします。

- ◆ 申し込み締め切り：2025年9月9日（火）17:00（日本時間）
- ◆ 申し込み先URL：<https://jp-ca.org/p004322/>
- ◆ 本件連絡先：（一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所

- 担当：中馬（ちゅうまん）、斉藤いつみ、大内
- 共通連絡先：TEL；03-3551-6218 / Email；central-asia@rotobo.or.jp

グリーン・エコノミー分野における協力

～ウズベキスタン・ビジネス起業大学院との新たなパートナーシップ～

2025年8月18日時点

時間	プログラム
14:00-14:25	【オープニング：ウズベキスタン閣僚会議付属ビジネス起業大学院とROTOBOとの協力】
14:00-14:05	日本側主催者開会挨拶：鈴木 恭一（一社）ROTOBO 専務理事
14:05-14:10	ウズベク側主催者開会挨拶： ミルコミル・アディロフ ウズベキスタン・ビジネス起業大学院副学長
14:10-14:20	ウズベキスタン側開会挨拶及びウズベキスタン・ビジネス起業大学院の紹介： 「プロジェクトオフィス『グリーン・エコノミーの推進と導入』の基本活動方針」 ルスタム・グリャモフ プロジェクトオフィス「グリーン・エコノミーの推進と導入」所長
14:20-14:25	質疑応答/リザーブ
14:25-15:10	【第1部：「グリーン」技術導入プロジェクトの実施におけるウズベキスタンと日本の協力の可能性】
14:25-14:32	日本側報告1：「経済産業省のカーボンニュートラル達成への取り組み」(P) 経済産業省 (P)
14:32-14:42	ウズベク側報告1：「グリーン・エコノミーの発展：ウズベキスタンの持続可能な未来への道」 テムル・ナルジクロフ ウズベキスタン共和国経済・財務省「グリーン・エコノミー・プロジェクトセンター」 プロジェクトオフィス長
14:42-14:49	日本側報告2：「JCM設備補助事業の活用方法」 稲田 健志（公財）地球環境センター 東京事務所 事業第二グループ 課長代理
14:49-14:59	ウズベク側報告2：「グローバルな気候変動下のウズベキスタンにおける有機農産物生産拡大の可能性」 ブラト・チョリエフ ウズベキスタン共和国農業省代表
14:59-15:06	日本側報告3：「持続的の水素社会を創造する為の産学連携の取り組み：H2UZ SATREPSの挑戦」 柳田 行範（独）国際協力機構(JICA) プロジェクト調整専門家
15:06-15:10	質疑応答/リザーブ
15:10-16:00	【第2部：ウズベキスタン・グリーンスタートアップ・ピッチ】
15:10-15:15	ウズベク側報告1：「都市交通のためのグリーン技術」 ポブル・アスタノフ 有限責任会社SAM ECO BENCH 創設者 （「スマート」バス停開発スタートアップ企業）
15:15-15:20	ウズベク側報告2：「都市廃棄物の再利用に基づく産業製品の生産」 ハリド・ベギムクロフ有限責任会社 EKOSFERA 投資担当マネージャー（廃棄物再利用企業）
15:20-15:25	ウズベク側報告3：「産業用銀ナノ粒子製造のための電気製品の再利用」 オディルジョン・アブドゥラフモノフ タシケント化学・技術大学 代表
15:25-15:30	ウズベク側報告4：「『エコ・アスファルト』プロジェクト/ウズベキスタンにおける再生プラスチックを活用した環境にやさしい持続可能なインフラの構築」 ムカッダム・バクムラトヴァ タシケント国立工科大学 プロジェクト発案者
15:30-15:35	ウズベク側報告5：「ウズベキスタンの電気・電子産業：パートナーシップ強化のための戦略的提案」 アジズ・ラヒモフ ウズベキスタン電機産業協会「ウズエルテフサノアト」投資誘致部 部長
15:35-15:40	日本側コメント：大場 一雅（株）KiAI CEO
15:40-16:00	質疑応答/クロージング

◆ウズベキスタン閣僚会議付属ビジネス起業大学院とは (<https://gsbe.uz/en>)

2001年に設立、2023年4月3日付大統領決定108号によって閣僚会議付属に再編され、2024年12月30日付閣僚会議決定904号によって活動方針、目的等が定義され、機能強化された高等教育機関。MBA等の教育プログラムに加え、組織内に「グリーンプロジェクト推進・実施プロジェクトオフィス」、「ビジネスインキュベーター・スタートアッププロジェクトセンター」等を擁する。